

進行管理システムに関する意見

基幹計画	
1	所管の評価に対し、懇話会等の意見を反映した評価を、上位計画へつなげる仕組みが望ましいため、総合計画審議会における、今後の評価方法等の議論に期待する。
2	8カ年計画における目標設定なので、初年度のみ達成率で評価することが、相応しいのか疑問。
3	個別計画に関連する事業を参考程度に記載すると良いのではないか。

個別計画	
1	目標は長期間にわたって目論むものであり、評価を求めるには時期尚早。
2	決められた評価ランクに従っての評価は、目標達成状況毎に見ると評価が厳しいように思われる。
3	予定通りに進捗していることで良しとするならば、懇話会による評価は不必要である。進捗状況と合わせて実施された事業に対する反省点、問題点も明記すべきである。
4	各事業の予定が予め示されていないため、どのように企画、実行、点検、改善されているのか説明が不足している。
5	行政の事業の多くは、目標を達成しても完了とはならない。このような場合、次に何を目指していくのか、新たな目標をどう設定するのか、その手続きを明確に定めていくことが望ましい。
6	事業実施において、広報活動が大きな要素になると考えられることから、事業進行管理表に広報活動の状況とその効果の記載が望まれる。
7	評価ランクの基準が甘く、抽象的で概念的である。これでは厳しい評価はできない。
8	進捗状況の評価に、昨年度まであった「予定通り進捗」（「事業完了」の記述がないもの）はないのか。
9	評価の尺度が適切か、見直しも必要である。
10	ただ取組みを行えばいいのではないはず、質を見る評価をすべきである。
11	予定通りに進捗と事業完了が同じ選択肢に入っているのはわかりづらい。別にした方がよい。

担当所管	
1	事業進行管理表にある「個別事情を考慮した総合評価」については、個別事情がなかったとしても選択をするようになっているが、すでに評価した「進捗状況の評価」はなんのためにあるのかわからない。
2	計画によっては、施策体系がまだできておらず、施策体系別の評価がしづらい。
3	施策体系別に総合評価状況をまとめるようになっているが、1つの体系に対して、1事業しかないことも多く、事業評価がそのまま施策体系評価となり、コメント等含め記載しづらい。
4	1事業が、全ての施策体系に入っているものについては、1事業のみで計画の評価につながっていることとなるが良いのか。
5	事業が様々な計画に入っている場合、その審議会毎に審議が必要かどうか疑問。